

農福連携による共生社会創造事業 ～農業を器とした就労困難者の居場所と出番づくり～

全国を対象に、地域全体で農福連携の推進を目指す 「実行団体」の公募を開始します

情報公開11月上旬

公益社団法人日本フィランソロピー協会(JPA)と株式会社農協観光(Ntour)は、コンソーシアムを組み、資金分配団体として、休眠預金を活用した事業「農福連携による共生社会創造事業～農業を器とした就労困難者の居場所と出番づくり～」を行ないます。

障がい者等の就労の場として、彼らを担い手・継承者不足の農業につなげる農福連携の取り組みですが、本事業では、農業と就労困難者をつなげるだけでなく、農福連携を通じて、誰もが生き生きと働ける環境づくりや、農業の発展的拡がりをめざし、元気で温かい地域コミュニティの創生につなげたいと考えています。

農福連携によって、障がい者やひきこもり・ニート、手帳などを持たないグレーゾーンの人たちが、高齢化し後継者のいない農業者や、一軒だけでは通期雇用が難しいということで農業の存続に不安を抱えている農業者の力になれると考えています。共に支え合い助け合いながら地域全体を優しく元気にしていく社会を、農業という器を使って、全国の仲間と共に目指します。

- 採択予定団体数 : 5～7団体
- 事業期間(予定) : 2024年4月～2027年2月
- 助成総額(予算) : 1億8,000万円(評価関連経費を除く) 補助率原則80%以下

本事業の目標(目指す姿)など、具体的な事業内容については、
本紙裏面および今後発表する公募要項や公募説明会でご確認ください。

公募に関するスケジュール(予定)

公募要項発表

申請受付(オンライン)

2023年
11月上旬

11月13日(月)から12月18日(月)17時まで【締切厳守】

※ウェブサイト内専用フォームよりオンライン申請

公募説明会(Zoom)

11月9日(木)、10日(金)
14時～16時

※両日同じ内容です(各日先着90名)
後日、配信予定

個別相談(Zoom) 申請にあたり、事前の相談は【必須】です。
公募要項発表後、ウェブサイトよりご予約ください

お問い合わせ
お申し込み

公益社団法人日本フィランソロピー協会(JPA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244
TEL:03-5205-7580 FAX:03-5205-7585(平日9:30～18:00)

ウェブサイト : <https://www.philanthropy.or.jp/noufuku/>



公募する実行団体の要件と本事業で行なうこと

▶ **農福連携を実施している、または実施したいと考えている団体** で、

(福祉法人等の就労困難者を支援する団体、中間支援団体やネットワーク、農業法人 など)

▶ **地域全体での農福連携推進と持続化を目指し、本事業期間内で事業遂行能力がある団体**

※本事業で目指す目標および、休眠預金等活用事業の趣旨を理解して取り組める団体であること。(法人格の種類は問わない)

※複数団体でのコンソーシアム申請も可能ですが、幹事団体は法人格を持つ中核団体が担い、申請することを推奨します。

※資金分配団体の資金支援・伴走支援により以下のような活動を行います

農福連携推進体制の構築

農福推進リーダーの育成
農福応援団の獲得

受入体制の構築

農業就労サポーターの育成

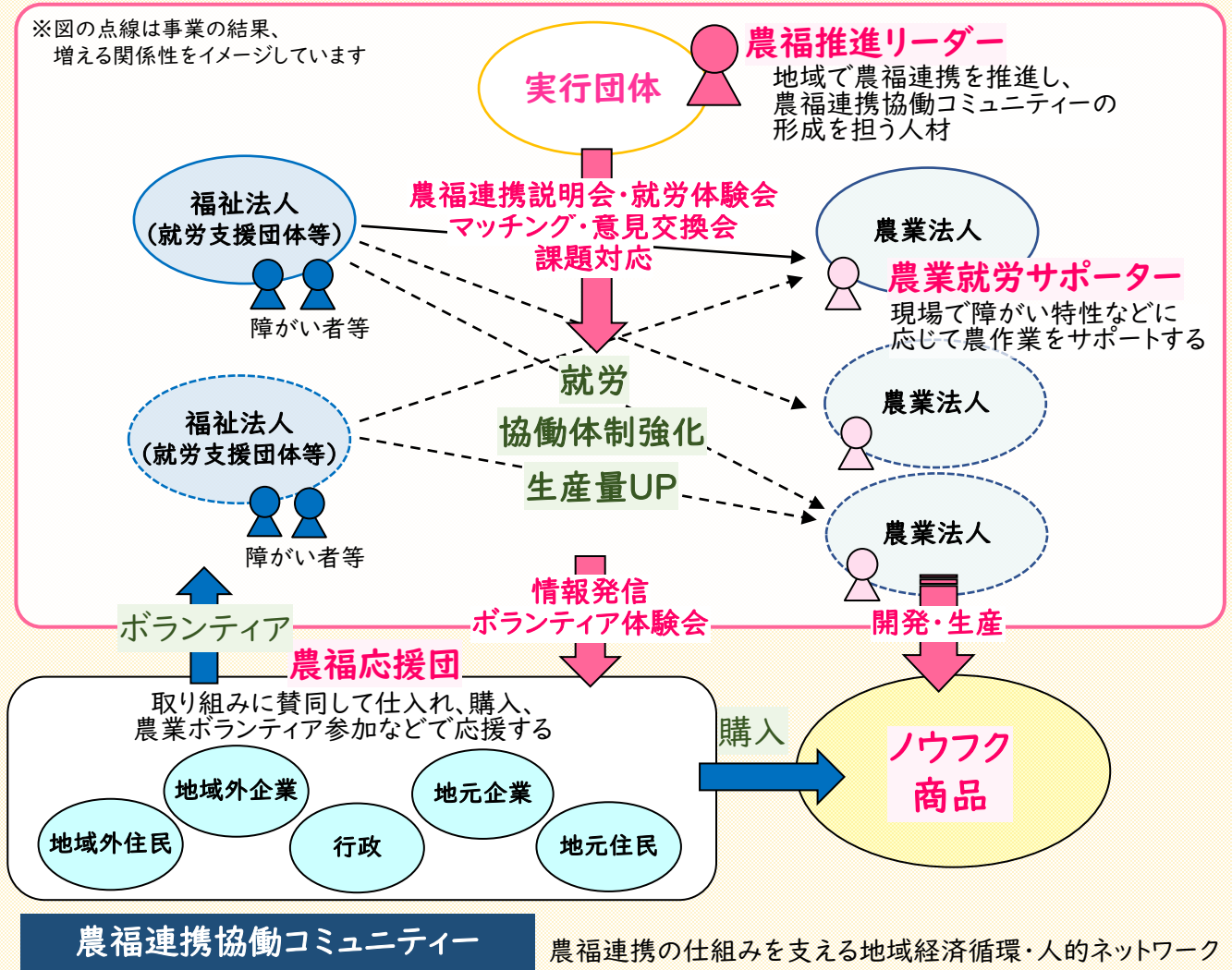
農作物の生産性向上・販路拡大

専門家による支援
休眠預金による必要な初期投資

本事業で目指す姿 (イメージ)

各実行団体の事業実施地域で農福連携に参画する福祉法人および農業法人が増え、複数の福祉法人に所属する障がい者等が年間を通して農業就労できている状態

※図の点線は事業の結果、
増える関係性をイメージしています



1 実行団体あたり、障がい者、ひきこもり等の就労困難者200~300人を対象として取り組み、3年間で50~100人が農業を通じて就労できている状態を目指します (全体で1,500人の就労困難者を対象に事業を実施し、500人の就労を目指す)

※このほか、本事業の目標(目指す状態)については公募要項等の資料をご覧ください